

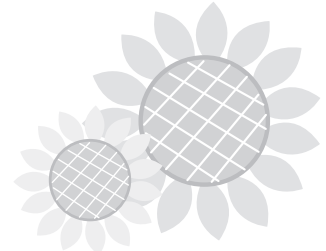
子ども・子育て支援新制度

子ども・子育て支援新制度ってなに

すべての子どもたちが、笑顔で成長していくために。
すべての家庭が安心して子育てでき、
育てる喜びを感じられるために。
「子ども・子育て支援新制度」が、平成27年4月にスタートしました。

新制度では、こんな取り組みを進めていきます。

- 1 幼稚園と保育所の機能をあわせもった「認定こども園」の普及を図ります。
- 2 保育の場を増やし、待機児童を減らして、子育てしやすい、働きやすい社会にします。
- 3 幼児期の学校教育や保育、地域のさまざまな子育て支援の量の拡充や質の向上を進めます。
- 4 子どもが減ってきている地域の子育てもしっかり支援します。



▶ 新制度で増える教育・保育の場

幼稚園・保育所に加えて、認定こども園の普及を図ります。「地域型保育」により、待機児童の多い3歳未満児の保育の場を増やします。

主な教育・保育の場は、次の4つです。

幼稚園 満3～5歳

小学校以降の教育の基礎をつくるための幼児期の教育を行う学校

保育所 0～5歳

就労などのため家庭で保育のできない保護者に代わって保育（養護と教育）を行う施設

認定こども園 0～5歳

幼稚園と保育所の機能をあわせもち、地域の子育て支援を行う施設

地域型保育 0～2歳

施設（原則20人以上）より少人数の単位で、0～2歳の子どもを預かる事業

地域型
保育の
4つの
タイプ

- 1 家庭的保育 定員5人以下で、保育を行います。
- 2 小規模保育 定員6～19人で、保育を行います。
- 3 事業所内保育 事業所の保育施設などで、従業員の子どもと地域の子どもを一緒に保育します。
- 4 居宅訪問型保育 保護者の自宅で、1対1で保育を行います。

▶ 地域の子育て支援の充実

共働き家庭だけでなく、すべての子育て家庭を支援する仕組みとして、次のような地域のさまざまな子育て支援を充実していきます。

一時預かり

急な用事や短期の就労など、子育て家庭のニーズに合わせて、一時預かりを実施します。

幼稚園での在園児を対象とした「預かり保育」や、保育所などに入所していない子どもを対象とした「一時保育」があります。

延長保育

保育時間を19時まで延長します。（一部の保育所は20時まで）そのほか、7時から24時まで利用できる夜間保育所があります。

病児保育

保護者の仕事などの都合により、病気中や病気回復期の子どもを、家庭で保育することが困難な場合に支援します。

放課後児童クラブ

放課後の小学校児童の健全育成を図るために、おおむね小学校区ごとに設置されています。低学年や留守家庭児童に限らず利用できます。

北九州市の子育て環境の魅力

魅力1 多様な保育サービスの充実

北九州市は、年間を通じた待機児童の解消に向けて、保育所や小規模保育等の新規開設・定員増や、保育士の人材確保に努めています。

また、質の高い保育サービスを提供するため、北九州市独自の加配として、保育所等保育士の配置を1歳児5人に対して1人に拡充し、保護者の多様な保育ニーズに応えるため、延長保育や一時保育の実施箇所数を増やすなど、保育サービスの充実に努めています。

このほか、直営保育所に親子通園クラスを設置し、発達が気になる子どもや育児に不安のある保護者などを親子で受け入れ、保育所での遊びや体験、相談を通して伴走型支援を行っています。

魅力2 放課後児童クラブの全児童化

北九州市の放課後児童クラブでは、全国に先駆けて、小学校低学年の留守家庭の児童に限らず、利用を希望する全ての児童を受け入れる全児童化を実施しました。その結果、待機児童が解消されるとともに、高学年児童の利用も増えています。

また、児童がクラブにおいて充実した活動ができるように、地域等との連携を図りながら各地域の特色を生かした、魅力あるクラブづくりを進めています。

魅力3 安心して受診できる小児救急医療体制

北九州市には、小児救急センターをはじめ、24時間の小児救急を実施している医療機関が市内に4か所あるなど、全国的に見ても充実した医療体制となっています。

24時間の小児救急を実施している医療機関

- 小児救急センター（八幡東区 市立八幡病院内）
- 北九州総合病院（小倉北区）

- 国立病院機構小倉医療センター（小倉南区）
- 地域医療機能推進機構九州病院（八幡西区）

魅力4 充実した子育て支援施設

子どもの豊かな感性や創造力を育み、子育て中の保護者が持つ負担や不安感を解消するための総合的な子育て支援拠点として、「子どもの館」、「子育てふれあい交流プラザ」を運営しています。

また、親子が気軽に集い、お互い交流しながら、情報交換や育児相談ができる場として、市内7区全ての区役所等に「親子ふれあいルーム」を設置しています。

魅力5 民間事業者と協働した「赤ちゃんの駅」

外出中に授乳やオムツ替えなどで立ち寄ることができる施設を「赤ちゃんの駅」として登録し、子育て中の親が安心して外出できる環境づくりを進めています。なお、民間事業者の協力のもと、この「赤ちゃんの駅」を開始したのは、北九州市が全国初です。（平成31年3月末時点 登録施設数447か所）

魅力6 充実した若者への支援

黒崎駅横のコムシティ地下1階に設置している「ユースステーション」では、中・高校生をはじめとする若者が、学習や体験、スポーツ・文化活動、仲間との交流等を通じて自己を発見し、社会性や自立性を身に付ける場を提供しています。

また、さまざまな悩みや課題を抱える子どもや若者を総合的にサポートあるいはコーディネートしていく総合相談窓口として、『子ども・若者応援センター「YELL」』を戸畑駅横のウエルとばた2階に設置し、若者の自立を強力にバックアップしています。

平成30年度 次世代育成環境ランキング

(NPO法人エガリテ大手前が実施)

北九州市は政令指定都市

第1位

平成29年 合計特殊出生率

北九州市は1.60で

政令指定都市

第1位